

# 平成27年度学術情報リテラシー教育担当者研修 グループ討議成果物

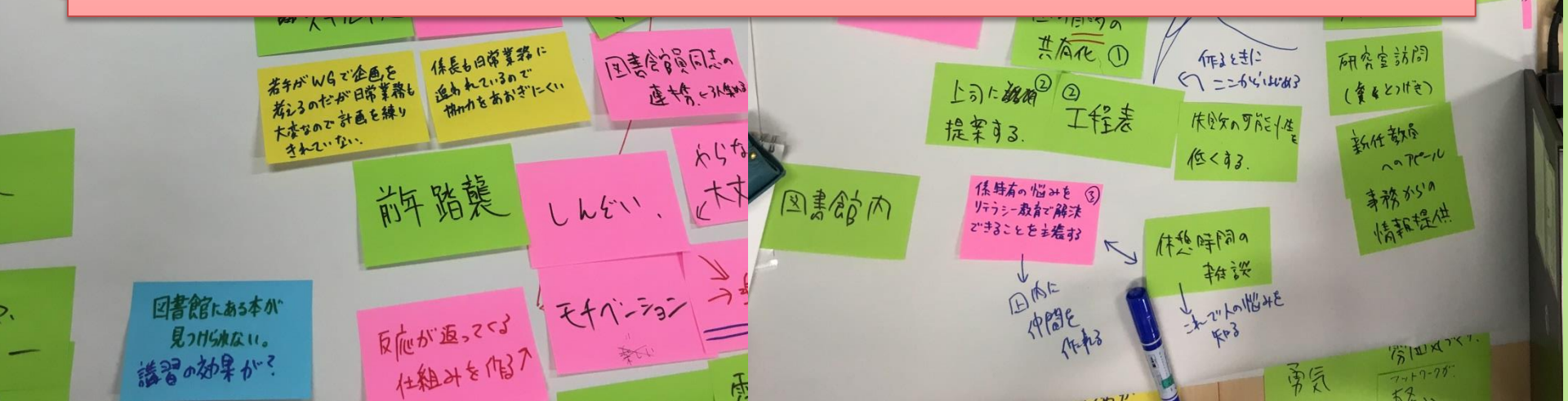
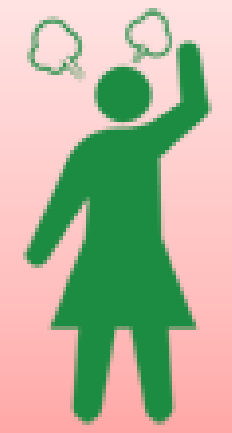
情報リテラシー教育が憂鬱な人のために  
～みんな仲間じゃん～

テーマ： b マーケティング / 3班

発表日：2015/11/20  
会場：国立情報学研究所



# そんなこと わかってる！！



- ただでさえ忙しい

話しのオチ

**おいおいおい！！**



- ひとりぼっちだし・・・

**なんのためにやるの??**



- 意識改革

楽しい!!!

- 目的の明確化

- 目的の共有

仲間ができる→連帯感



## 目的: 情報リテラシー教育を楽しく行う

目標	誰が	目標達成のための手段	具体的な行動
図書館が情報リテラシー教育を行う理由を考える	担当者	担当者自身が自覚する	研修会に参加する 自習 ...
		他の職員を説得する戦略を練る	...
		...	...
図書館内で共有する	担当者～ 図書館全体	図書館内に提案	上司に提案 ILLやレファレンスなど、他の業務の悩みをリテラシー教育で解決できることを提示 休憩時間の雑談で話す ...
教員との連帯感を生み出す	図書館全体	教員・授業を知る	シラバスを読む FD開発担当の教員に相談 ...
		図書館から働きかける	図書館によく来る教員・図書館によく来る学生の担当教員に提案 図書館でできる授業支援をリーフレットにする 研究室訪問 ...
教員と一緒に教育に取り組む	図書館と教員	...	... ...

洗い出したこれらの行動に、「いつ」を加えて各館の工程表を作成してください。

# 一人の一步がみんなを変える

個別の課題については、  
他のグループに任せます！